



本日の卓話 12月16日(火)

「新会員卓話」

前田 安津久 会員  
常川 仁司 会員



次週の卓話 12月23日(火)

「年末家族会」

(例会17:30～、家族会18:00～)  
於：ホテルグランヴィア和歌山



先週の例会記録

★ロータリーソング

それこそロータリー

★ビジター紹介

ゲスト 一般社団法人和歌山青年会議所 直前理事長 井川 惇さん、  
副理事長 大西清悟さん

★出席報告

(会員数78名、免除会員4名) 本日出席(12/9) 50名 65.79%

★メイキャップ

和アゼリアへ2名、地区へ1名

★S. A. A.  
(ニコニコ箱)

松尾泰明さん、垣本英作さん、脇坂三蔵さん、木綿紀文さん、西岡千博さん、松井良樹さん、  
田村歆彰さん、野井和重さん、中野智一さん、瀬川良浩さん、市川 晃さん、河村秀樹さん、  
村田弘至さん、檜畑直尚さん、林 俊行さん、島村安昭さん、廣井久道さん、塚本貞治さん、  
和中美喜夫さん、高 誠さん、宮本克之さん、中谷友紀さん、池内茂雄さん、岩西智宏さん

本日合計 ¥85,000 今年度累計額 ¥1,261,465

(財団寄付献金箱)

松尾泰明さん、垣本英作さん、脇坂三蔵さん、木綿紀文さん、西岡千博さん、松井良樹さん、  
田村歆彰さん、野井和重さん、中野智一さん

(米山奨学会献金箱)

松尾泰明さん、垣本英作さん、脇坂三蔵さん、木綿紀文さん、西岡千博さん、松井良樹さん、  
田村歆彰さん、野井和重さん

(青少年育成奨励金)

松尾泰明さん、垣本英作さん、脇坂三蔵さん、木綿紀文さん、西岡千博さん、松井良樹さん、  
田村歆彰さん、野井和重さん、瀬川良浩さん



会長あいさつ

会長 松尾泰明



今日は、年末らしいお話をとしまして、今年の「漢字」のお話です。

毎年12月12日に清水寺にて揮毫される今年の漢字ですが、皆さんはどんな漢字を予想されますか？ 後3日想像してみてください。

今年は関西万博が開催されました。その関連でも思いましたが、一字となるとなかなか難しいですね。インターネットで検索しますと「熊」「米」と出てきます。

各地で熊被害が多く報じられました。また令和の米騒動で連日情報番組でも取り上げられました。私もすぐに浮かんだのはこの2つでした。

昨年は、「金」という字でした。オリンピックイヤーにも関係あるのでしょうか。「金」は過去30回の歴史の中で4回あるそうです。「災」や「戦」という漢字も記憶にありますが、このあたりは今後複数回出てこないことを願います。

この12月12日というのは、「いいじ」と「いちじ」という語呂合わせだそうです。

皆さんの応募数で決定されるという事ですが、本日9日その締め切り日だそうです。ご興味のある方は申込みを

されてはどうか。日本漢字能力検定協会のHPから応募することができます。

今年はい体どんな漢字が選ばれるのでしょうか？

会長報告

12月2日に第6回定例理事会が開催されました。

出欠アプリが承認されましたので、追って皆さんにご案内します。

ロータリー財団 認証

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (4) 川端 貞喜 会員



## 幹事報告

- 赤い羽根共同募金 33,000円ご寄付頂きました。すでに振込完了しております。ご寄付頂いた方、バッチと赤い羽根をお持ちください。ご寄付ありがとうございます。
- ロータリー国際大会早期割引登録締切日：12/15となっております。お早めにご登録ください。
- 本日、2026-2027年度 第1回目の理事予定者会議を行います。

## 委員会報告

### 出席・プログラム委員会

森永 暁和 副委員長

### 2024-25年度出席表彰 (前回ご欠席分)



18年間 市川会員、8年間 廣井会員



### 国際交流委員会

宮崎 純 委員長

国際ロータリー第3490地区、地区大会訪問のご案内



### 親睦・ソング委員会

濱田 勝 委員長

年末家族会について申込状況等のご案内

## 「2026-2027年度 第1回理事予定者会議」開催!

2025年12月9日(火) 18:30~



## 卓話

### 「和歌山を動かす若い力とは

### —和歌山青年会議所理事長を経験して見えた景色—



一般社団法人和歌山青年会議所  
第69代理事長

石井 勇氣 さん

和歌山青年会議所(JC)は、1957年の創立以来、「明るい豊かな社会の実現」を理念に掲げ、地域課題の解決と次世代の育成に取り組んできました。第69代理事長として本年度の運動を進めるにあたり、和歌山の未来をつくるのは、挑戦する若い力であるという考えのもと、所信に「誰もが一步踏み出せる環境づくり、勇往邁進」を掲げて運動を展開してまいりました。

近年、社会構造の変化により、まちには新たな課題が生まれ、青年世代の役割もより重要になっています。青年会議所では、多様な背景を持つ仲間が集い、議論と行動を通じて互いに成長し、その成長が地域の活力へとつながるといふ“好循環”を生み出すことを目指しています。また、経験の浅いメンバーが増えている現状を踏まえ、誰もが安心して挑戦できる組織づくりにも取り組んでいます。

今年度は、和歌山の魅力を再発見し、それを次世代へ紡ぐ運動にも注力しています。行政・企業・市民との連携を深め、地域に必要なとされる団体としての役割を果たしながら、まちに新たな価値を創出していくことを目標としています。

和歌山の未来をより良くするためには、一人ひとりの想いと行動が欠かせません。青年会議所として、若い力がまちを動かす原動力となるよう、今後も挑戦と成長の歩みを進めてまいります。



卓話ゲストの石井理事長(右)と松尾会長